



サケ・マス漁中型船出漁 小型船に続きロシア200海里水域内操業の中型船16隻が出漁しました。岸壁では、大漁と安全操業を願い大勢の市民が見送りました。
(5月12日：花咲港)



愛きょう振りまくラッコ出現 納沙布岬の岩場付近にラッコが現れ、警戒感もなく間近で愛きょうを振りまくラッコの姿を一目見ようと、多くのカメラマンや市民が詰め掛けました。
(5月15日：納沙布岬)



根室公園の夜桜ライトアップ 今年も市民有志によるチシマザクラやエゾヤマザクラのライトアップが行われ、幻想的な世界を多くの市民が楽しみました。
(5月15日：根室公園)



シーサイドクリーンプロジェクト2009 桂木・友知海岸を親しまれる海岸に戻そうと、今年で3回目となる市民のボランティアによる清掃活動が行われ、大量のごみが回収されました。
(5月17日：友知海岸)

春国岱原生野鳥公園
ネイチャーセンター

NC通信

〒086-0074
根室市東梅103番地
☎25-3047

「外国からきたハチ ～セイヨウオオマルハナバチ～」

5月、エゾエンゴサクの花が咲くと、マルハナバチの仲間たちが姿を見せ始めます。丸い形をした、体長1～2cmのハチの仲間です。根室市内では、エゾオオマルハナバチをはじめ10種類が確認されています。

マルハナバチの仲間の多くは昔から根室に生息していましたが、これまで確認されていなかった外来種のセイヨウオオマルハナバチが2007年に初めて根室で確認されました。2008年の夏ごろから根室市内でもかなりの数が確認されるようになり、ネイチャーセンターの駐車場にも姿を現すようになりました。このハチは、ハウストマトなどの花粉媒介用に1992年ごろから本格

的に日本に導入され、その後、逃げ出したハチが野生化し、どんどんその分布を広げています。

このハチが増えると困る生き物が、他のマルハナバチの仲間です。セイヨウオオマルハナバチは競争力が強く、在来種のマルハナバチを駆逐してしまう心配があります。さらに、これまで在来種のマルハナバチに受粉をしてもらっていた花が、種を作れなくなってしまう恐れもあります。このように、セイヨウオオマルハナバチが増えると、この地域の生態系に影響が出てくる可能性があるため、駆除を徹底的に行う必要があります。

しかし、根室市には道の希少種であるノサップマルハナバチが生息しています。このハチは、セイヨウオオマルハナバチとよく似た姿をしているため、駆除の際に誤って捕獲されるとその生息にダメージを与える



心配があります。体が黒く、黄色の縞が2本入り、お尻が白いマルハナバチを見つけたら、まずはネイチャーセンターまでご一報ください。

(レンジャー 手嶋 洋子)